



JAPAN FOUNDATION

報道関係各位  
プレスリリース

国際交流基金

2017年8月17日  
No. 2017-021-1/2

## アジアの若手デザイナー×東北・被災地の食品メーカー コミュニケーション・デザインを通じてアジアの扉を開く 滞在型プログラム「DOOR to ASIA 2017」を開催 (於・岩手県陸前高田市・大船渡市、宮城県気仙沼市)

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）と一般社団法人つむぎやは、2017年8月22日から12日間にわたって、アジアの各国・地域で活躍する若手デザイナー8名を招へいし、東日本大震災の被災地である岩手県の陸前高田市と大船渡市、そして宮城県気仙沼市で、地元の事業者と連携し、地域の魅力発信につながるコミュニケーション・デザインを提案する「DOOR to ASIA」と題した滞在型プログラムを実施します。



「DOOR to ASIA」は、異なる文化背景を持つ若手デザイナーが、一定期間地域に滞在しながら地元の事業者のことを深く理解し、アジアへの扉をひらくデザインを制作・提案する「デザイナーズ・イン・レジデンス」形式のプログラムとして、2015年度にスタートしました。

3回目となる今回、アジア8か国・地域(韓国、中国、台湾、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、インド)出身のデザイナーが参加します。参加デザイナーは、地域の一次産品を加工・販売する岩手と宮城の食品メーカー4社を受け入れ先として、地域資源を活用した商品生産現場での就労体験やホームステイを経験したのち、地域の魅力発信につながるコミュニケーション・デザインを制作、東北と東京でそれぞれ報告会に参加し、制作したデザインの提案を予定しています。

### ■「DOOR to ASIA 2017」事業概要

【日程】2017年8月22日(火)～9月2日(土)

【東北】8月23日～31日

【東京】8月22日・9月1日～2日 / 東京報告会：9月1日

【プログラム】イベントについては次頁を参照

【活動地】岩手県陸前高田市・大船渡市 / 宮城県気仙沼市 (+ 東京都内各所)

【滞在拠点】陸前高田 箱根山テラス (岩手県陸前高田市)

【参加デザイナー】8名 (韓国、中国、台湾、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、インド出身者 各1名)

【受入事業者】三陸とれたて市場 [岩手県大船渡市・鮮魚/水産加工品製造販売]

LAMP [岩手県陸前高田市・りんご生産販売]

ピースジャム [宮城県気仙沼市・ジャム加工販売]

横田屋本店 [宮城県気仙沼市・海苔/海産品加工販売]

【共催】国際交流基金、一般社団法人 つむぎや

【特別協力】アクシスギャラリー、アドビ システムズ 株式会社、公益財団法人 日本デザイン振興会 (予定)

【後援】岩手県、宮城県、陸前高田市 (予定)、気仙沼市 (予定)、経済産業省 東北経済産業局

主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 文化事業部事業第1チーム (担当：西藤、泉)

Tel: 03-5369-6061

取材に関するお問い合わせ：国際交流基金 コミュニケーションセンター (担当：二村、熊倉、常盤)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

■プログラムイベントについて

<イベント①：アジア8ヶ国・地域 DESIGNERS MEET UP in TOKYO —各地のローカルデザインの今—>

【日時】2017年8月22日（火）18:00 開場

【場所】AXISビル地下1階 シンポジア （住所）東京都港区六本木5-7-1 AXISビル

【内容】参加デザイナーが過去に制作してきたデザインワークや各国・地域のデザインの潮流などについて発表します。

日本ではめったに聞くことができない、アジアの熱きデザインの世界を紹介します。（通訳あり、会費1,000円）

※終了後には軽食と飲み物をご用意した懇親会を予定しています。

【イベント共催】公益財団法人 日本デザイン振興会、アドビ システムズ 株式会社

【イベント協力】アクシスギャラリー

<イベント②：DOOR to ASIA 2017 / PRESENTATION in TOHOKU>

【日時】2017年8月31日（木）14:00～17:00

【場所】陸前高田 箱根山テラス （住所）岩手県陸前高田市小友町茗荷1

【内容】本事業の成果として、参加デザイナーが受け入れ先の食品メーカーとの交流の中で感じたことや

伝えたいことを落とし込んだデザイン提案を発表。提案を受けた事業者との意見交換も実施します。

（通訳あり、会費1,000円）※終了後には地元食材を使用した懇親会を予定。

<イベント③：アジア8ヶ国・地域 DESIGNERS PRESENTATION in TOKYO —東北の事業者と過ごした10日間—>

【日時】2017年9月1日（金）18:00～21:30

【場所】東京ミッドタウン・デザインハブ （住所）東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

【内容】8月31日（木曜日）に実施した東北での発表会を東京でも開催します。

当日はデザイン関係者を会場に迎え、参加デザイナーのデザイン提案に対するフィードバックに加えて、

本事業のプログラムデザインやデザイン一般にかかる意見交換も実施します。（通訳あり、会費1,000円）

※終了後には東北の食材を使用した懇親会を予定しています。

【イベント共催】公益財団法人 日本デザイン振興会、アドビ システムズ 株式会社

【イベント協力】アクシスギャラリー

■「DOOR to ASIA」事業について

本プログラムは、アジア各国・地域の共通課題でもある「地方創生」と「自然災害」に貢献するデザイナーの役割を探求するラーニングプログラムという側面もあります。事業者にとっては、今後のアジア市場を見据えたヒントを得るとともに、国・地域を越えた人と人との信頼関係をベースとした新たな事業展開のモデルを示すことを目指します。

また、2015年12月に実施した後は、気仙沼の水産加工事業者がインドネシア人デザイナーとの協働によってインドネシア市場への輸出に向けた動きが始まる等、本件事業を通して構築されたネットワークをもとに、様々な連携が生まれてきています。

■参加デザイナーについて

【韓国】 In-ah Shin（イナ・シン）

【中国】 Sun Xiaoxi（サン・シャオシュー）

【台湾】 Jay Guan-Jie Peng（ジェイ・グアンジエ・パン）

【インドネシア】 Jefferson Edri（ジェファーソン・エドリ）

【タイ】 Grittiga Prasitsiriwongse（グリティガ・プレシッティシリウオン）

【フィリピン】 Roxy Navarro（ロキシー・ナバーロ）

【マレーシア】 Magdalene Wong（マグダレン・ウォン）

【インド】 Sudeep Chaudhuri（シュディープ・チョードリー）

※各デザイナーの肩書きや所属の詳細については、当基金ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.jpf.go.jp/project/culture/exhibit/exchange/2017/08-01.html>

---

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 文化事業部事業第1チーム（担当：西藤、泉）

Tel: 03-5369-6061

取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉、常盤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)